

手術名	食物経口負荷試験	ID-	入院病棟	担当医師	担当看護師
		様			

月日	月 日		
経過	検査前	検査中	検査後
目標	検査の必要性について理解できる	検査を安全確実に受けることができる	検査後、アレルギー症状が最小限である
安静度	<ul style="list-style-type: none"> ・安静に過ごします。 ・ご家族の方も一緒に検査に付き添っていただきます。検査場所は処置室で行いますが、機嫌が悪く無理な時はプレイルーム・病室で行うことができます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・退院後は通常の生活をさせていただきます。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・検査が終了するまでは食べられません。 ・飲水(水・お茶)は可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示に従い、段階的に負荷食品を摂取していきます。 ・摂取時には負荷食品が口の中に残らないよう水やお茶を飲んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査終了後、主治医の診察・許可がでたら食事摂取可能となります。 ・退院後は通常の食事を摂取してください。 ・負荷した食材は主治医の指示通りの摂取量としてください。 
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・指に酸素飽和度を測定する器械をつけます。主治医の許可があるまでは装着していただきます。 ・検査開始前、終了時に体温・脈拍測定を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査中、負荷毎に血圧測定を行います。 ・アレルギー症状出現時には適切に対応させていただきます。発疹が出た・機嫌が悪い・顔色が悪い、お腹が痛いことがあれば看護師にお知らせ下さい。その際、酸素投与・吸入・筋肉注射・点滴をする可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・負荷試験終了後、新たな症状の出現がないか病室で観察をします。 
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・検査の同意書・負荷食品をお渡しください。 ・抗ヒスタミン薬を持参された場合はお渡しください。 ・負荷試験は通常2～3時間かかりますが、個人差があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異常を感じたらすぐにスタッフに声をかけてください。 ・子供の行動は予想がつかず、ご家族の方はお子さんから目を離さないようにお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・診察後、退院となります。 ・負荷試験終了後、遅れて下痢などの症状が出現する場合があります。症状出現時には看護師にお知らせください。 ・医師より負荷試験の結果説明があります。  <p>* 負荷試験後の注意点</p> <p>病院での負荷試験が陰性でも、遅れてじんましん・咳・腹痛・下痢・湿疹などが出現することがあります。このような症状が出た場合には、症状が出た時間や症状を観察し、食物経口負荷試験結果説明書に沿って対応を行ってください。</p>

診療計画は現時点で考えられるものであり、今後診療を進めていくに従い、変わりうるものです。

代表的なパスの一例です